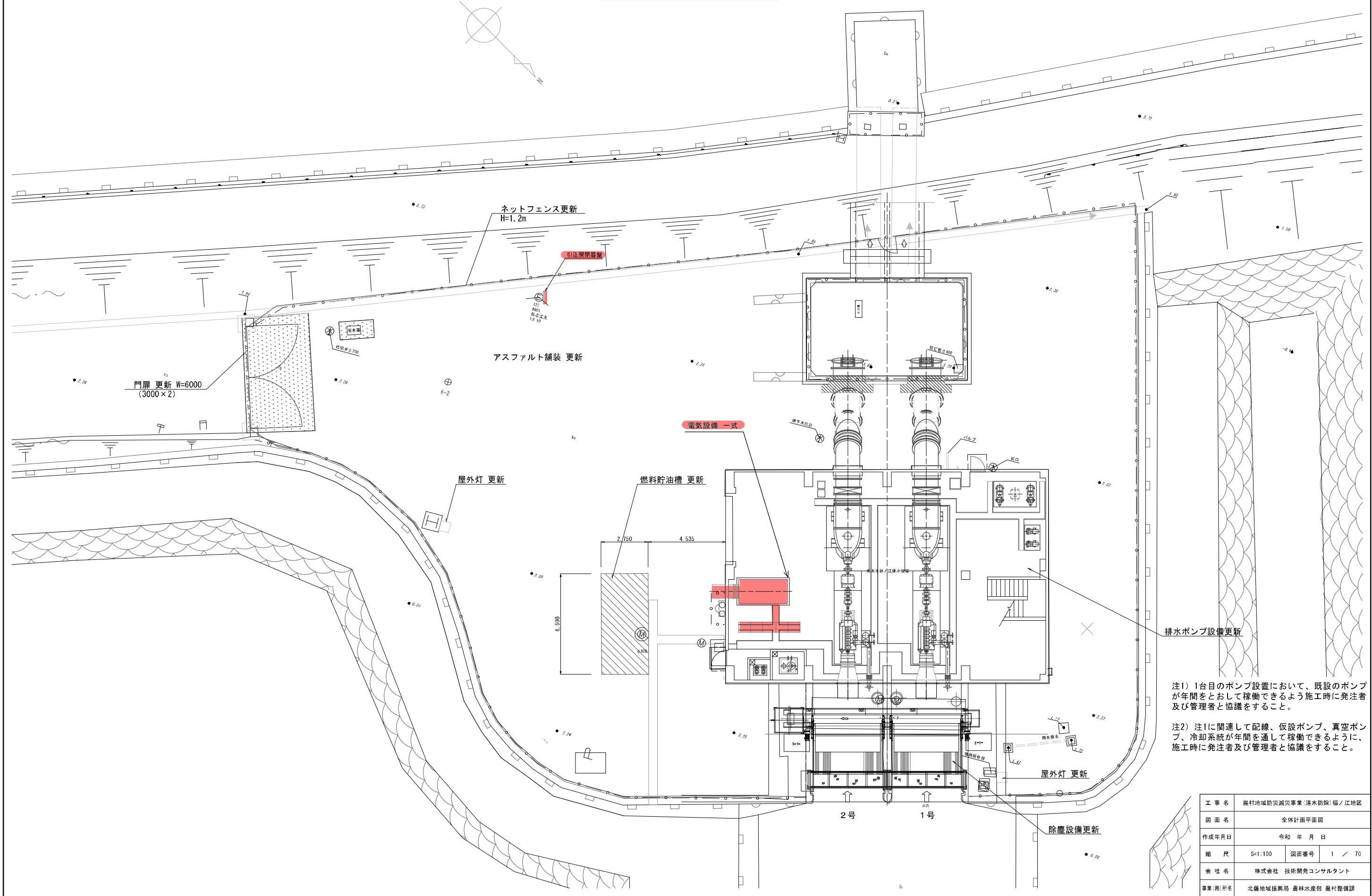


農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
全体計画平面図 S=1:100

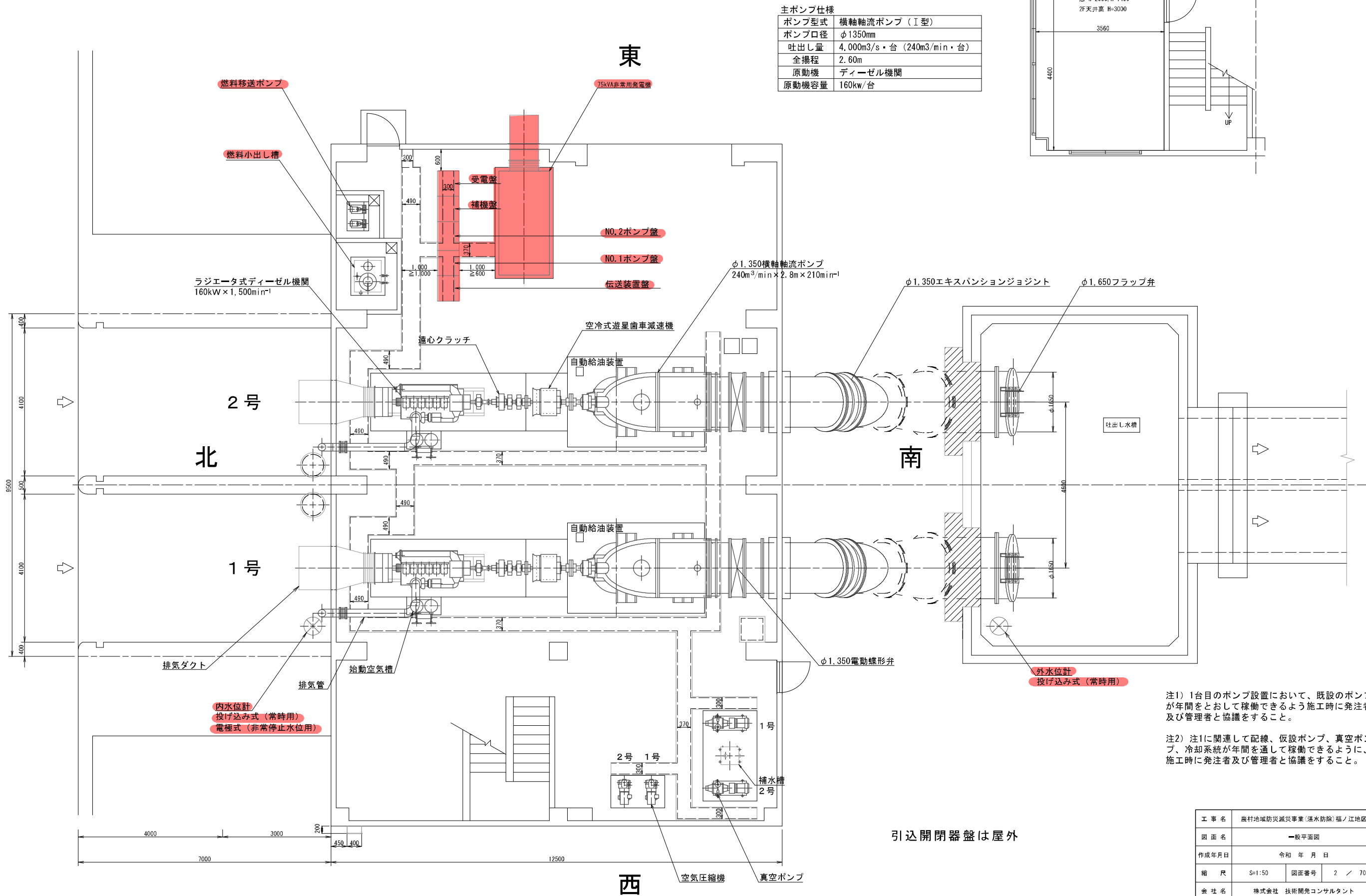


注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	全体計画平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:100	図面番号	1 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(税)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
一般平面図 S=1:50



現況平面図 S=1:50

柵詳細図 S=1:20

中央監視 操作盤

自動通報装置

電灯分電盤

動力操作盤

除塵機、遠隔 操作盤

吐出し水槽

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却システムが年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

溝詳細図 S=1:20

— 大 中 小

工 事 名	農村地域防災減災事業「洪水防除」福ノ江地区		
図 面 名	現況平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	3 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

(参考図面)

1号ポンプより2号ポンプを先行して設置する場合の図面であり、
実際は、ポンプ設置業者と詳細な工程打ち合わせをした後、仮設等
についても検討するものとする。



(参考) 仮設ポンプ台数について
仮設ポンプ台数は、理論的な流出解析をしないと決められない。今回は専門家の意見を参考に水中ポンプ4台(計32m³/s)としている。
水中ポンプの特性を活かし、降雨時における事前対策として早めに稼働を行う必要がある。
ただし、発注者及び管理者と協議を行い、対応を決定することが望ましい。

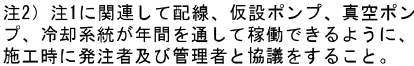
注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却システムが年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業（防水防漏）福ノ江地区		
図 面 名	2号ポンプ設置後平面図（電気仮設配線図含む）		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	4 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業（務）所名	北陸地域振興局 農林水産部 農村整備課		

一般断面图 S=1:50

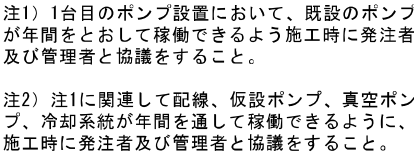
$S = 1 : 50$



工 事 名	農村地域防災減災事業（湛水防除）福ノ江地区		
図 面 名	一般断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	5 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業（務）所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

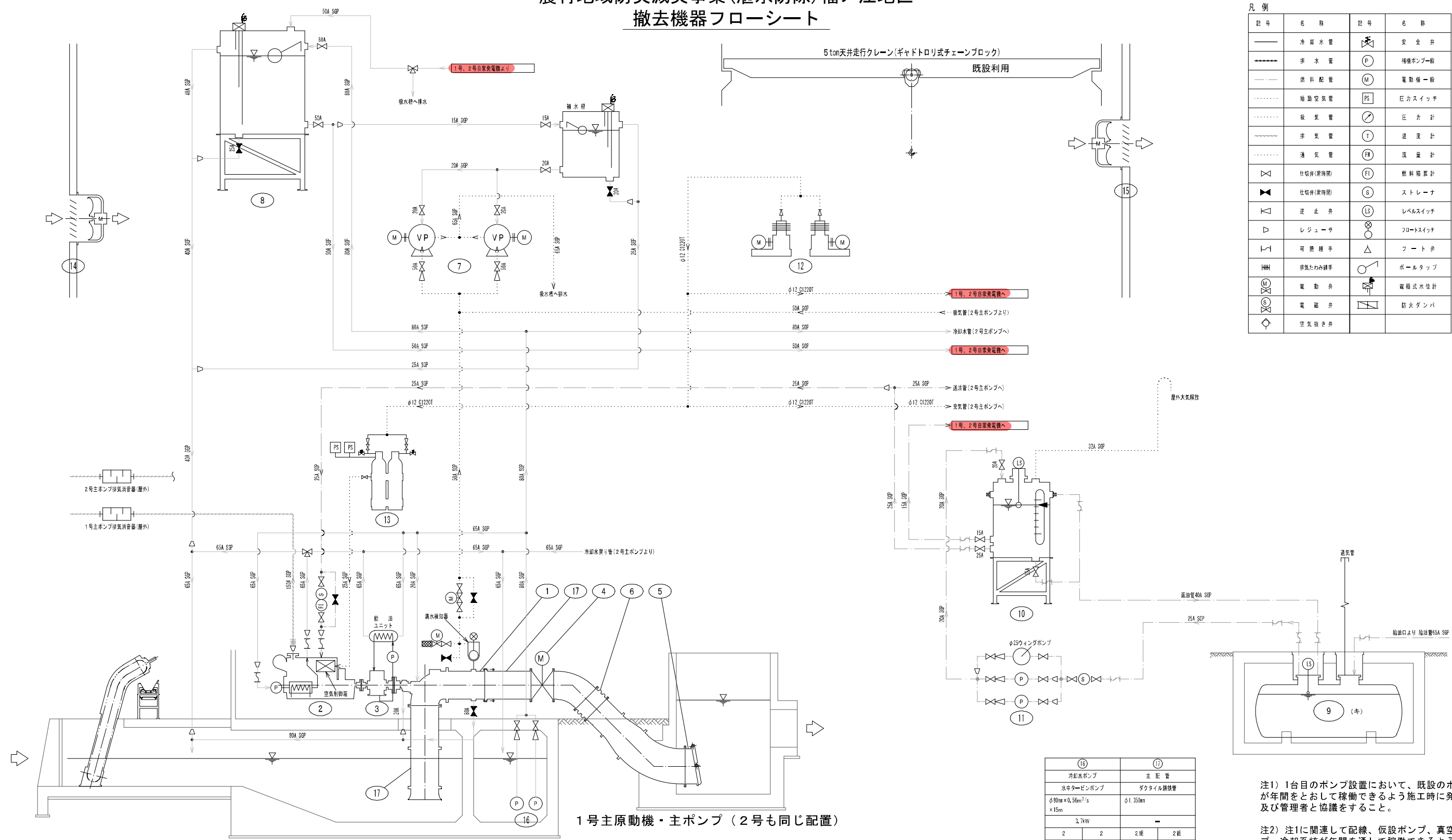
現況断面図 S=1:50

$S = 1 : 50$



工 事 名	農耕地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	現況断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	6 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
撤去機器フローシート



凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
—	冷却水管	安全弁	
----	排水管	増設ポンプ線	
----	燃料配管	電動機一般	
.....	給気配管	圧力スイッチ	
.....	吸気管	圧力計	
.....	排気管	温度計	
.....	通気管	流量計	
△	仕切弁(常時閉)	燃料流量計	
△	仕切弁(常時開)	ストレーナ	
△	逆止弁	レベルスイッチ	
▽	レギュレーサ	フロートスイッチ	
▽	可撓継手	フート弁	
HH	排気たわみ継手	ボールタップ	
⊗	電動弁	電極式水位計	
⊗	電磁弁	防火ダンパ	
◇	空気抜き弁		

撤去機器一覧

機 器 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機 器 名 称	主 ポン プ	主 原 動 機	歯 車 減 速 機	吐 出 弁	逆 止 弁	可 撓 管	真 空 ポンプ	減 圧 水 箱	屋 外 燃料貯 油 槽	燃料 小 出 し 口	燃料 移 送 ポンプ	空 気 圧 縮 機	給 気 空 気 槽	給 気 ファン	排 気 ファン
形 式	横 軸 軸 流 ポンプ	ディーゼル 機関	逆 車 歯 車 減 速 機	電動 螺旋 弁	フ ラ ッ プ 弁	面 F ゴ ム 可 撓 管	水 封 式 真 空 ポンプ	鋼 板 製 角 形 貯 水 槽	地 下 倉 2 重 鋼 タンク	鋼 板 製 丸 形 貯 油 タンク	倍 率 ポンプ	2 段 空 冷 立 形 圧 縮 機	鋼 板 製 高 圧 空 気 槽	整 形 有 圧 瓦	整 形 有 圧 瓦
仕 様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,20m	200PS		φ1,350mm×L850mm	φ1,650mm×4 枚 弁 丸 形	φ1350mm×L700mm	φ80mm×8,0mm ³ / _{min} ×最高-630mmHg	有効貯水量300 L	貯 油 容 量: 400 L	有効容量400 L	φ20mm×30 L / min × 2.5kg/cm ²	17,9m ³ /hr×30kg/cm ²	150 L×32kg/cm ² ×2 連		
電 動 機 出 力	—	初期消費電力0.75kW	初期消費電力0.75kW	1.5kW	—	—	15kW	—	—	—	0.4kW	3.7kW	—	0.75kW	1.5kW
数 量	全 体	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	4	2	2
備 考			給油ユニット付				2 台中 1 台予備 漏水時 1 邊を含む	鋼製集合付	第 3 石連 (A 重油)	第 3 石連 (A 重油) 鋼製集合付	2 台中 1 台予備 φ25mm ワイング付	2 台中 1 台予備	2 連中 1 連予備 ドレン分離機付	機軸 1 m56dB (A) 以下	機軸 1 m64dB (A) 以下

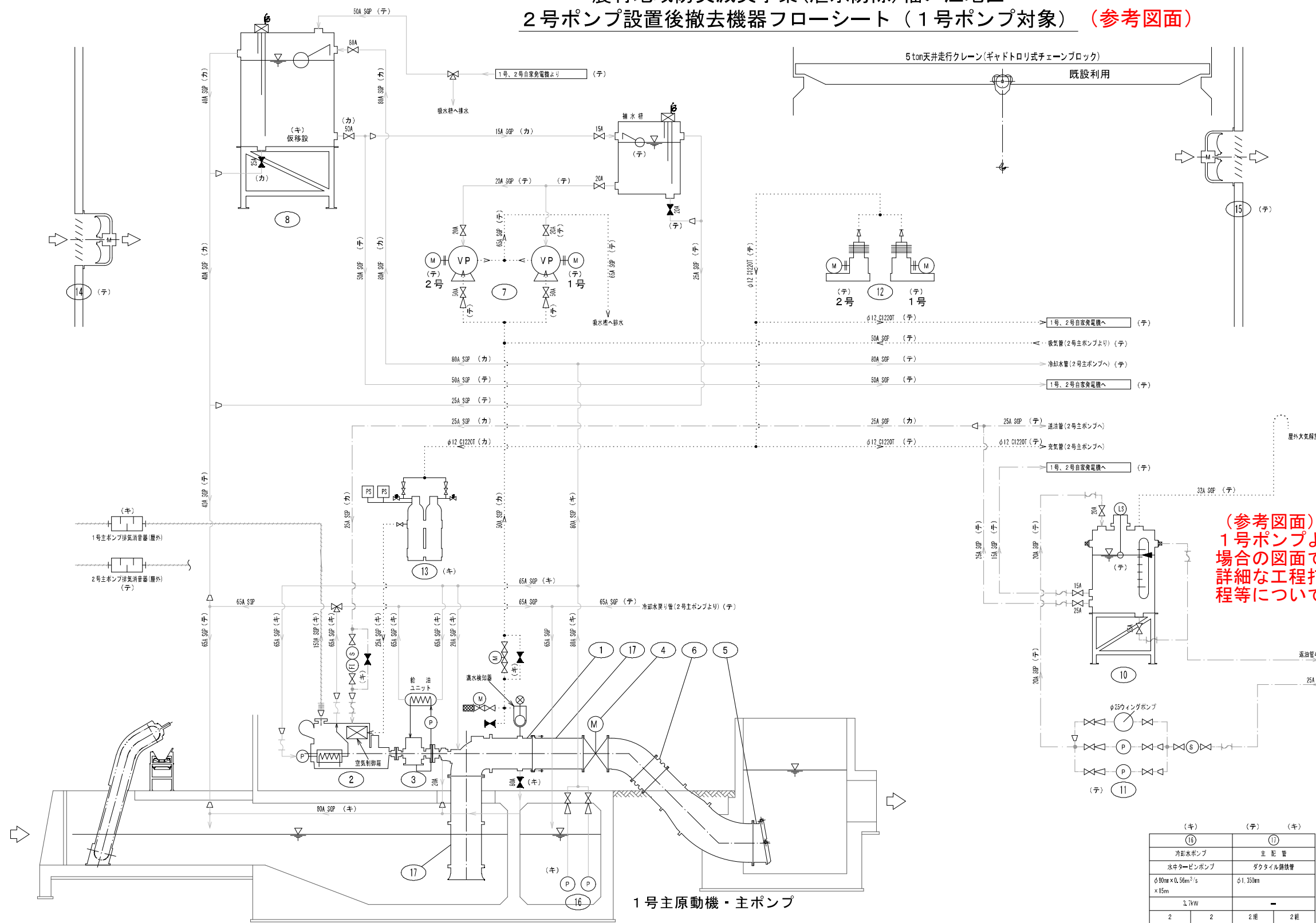
配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
図 面 名	撤去機器フローシート
作成年月日	令和 年 月 日
縮 尺	— 図面番号 7 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課

農村地域防災減災事業（湛水防除）福ノ江地区
2号ポンプ設置後撤去機器フローシート（1号ポンプ対象）（参考図面）



凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
—	冷却水管	⊗	安全弁
----	排水管	P	増設ポンプ一般
----	燃料配管	M	電動機一般
.....	給油空気管	PS	圧力スイッチ
.....	殺気管	○	圧力計
.....	排気管	T	温度計
.....	通気管	FR	流量計
⊗	仕切り(常時閉)	FI	燃料流量計
⊗	仕切り(常時開)	S	ストレーナ
⊗	逆止弁	LS	レベルスイッチ
▽	レギュレーサ	⊗	フロートスイッチ
⊗	可撓継手	△	フート弁
HH	排気たわみ継手	⊗	ボールタップ
⊗	電動弁	⊗	電極式水位計
⊗	電磁弁	⊗	防火ダンパ
◇	空気抜き弁		

撤去凡例

	1 次	2 次
(キ)	既設利用	撤去
(カ)	既設撤去一仮配管	仮配管撤去
(チ)	撤去・新設 撤去	

（参考図面）
1号ポンプより2号ポンプを先行して設置する場合の図面であり、実際は、ポンプ設置業者と詳細な工程打ち合わせをした後、撤去範囲、工程等についても検討するものとする。

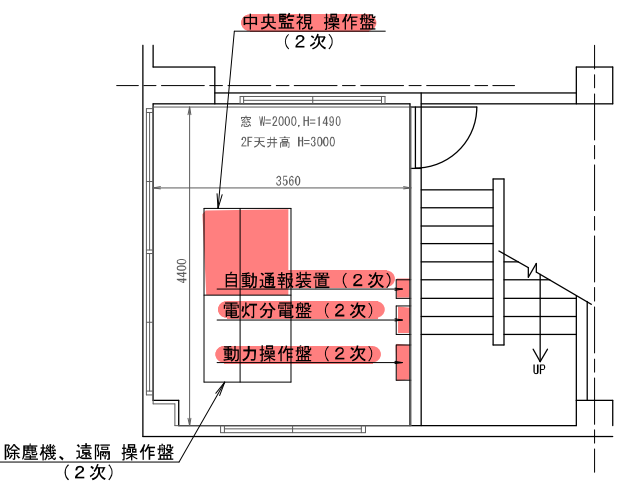
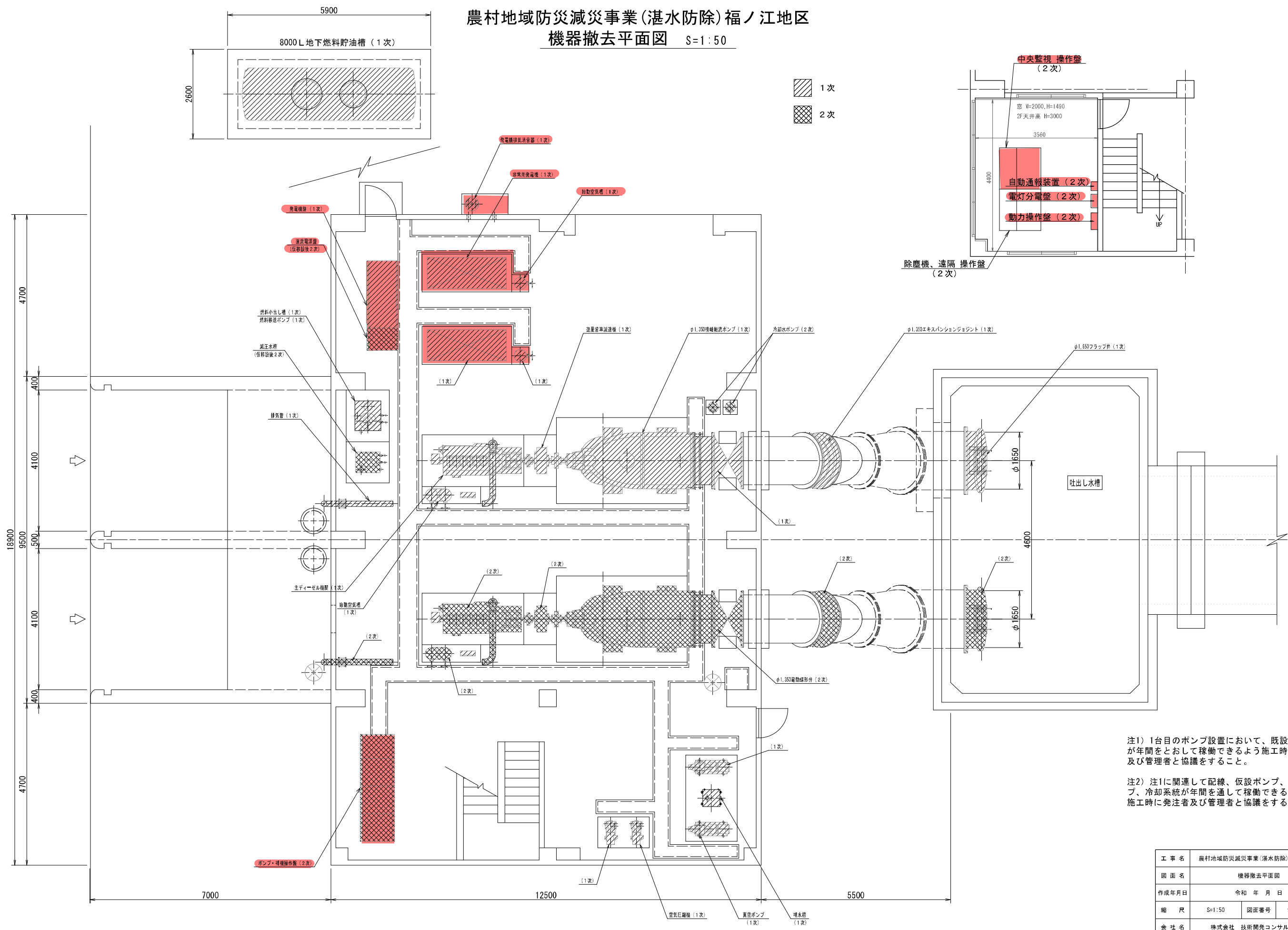
撤去機器一覧

機 器 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機 器 名 称	主 ポ ン プ	主 原 動 機	歯 車 減 速 機	吐 出 弁	逆 止 弁	可 撓 管	真 空 ポ ン プ	減 圧 水 箱	屋 外 密 封 貯 油 槽	燃料小出し機	燃料移送ポンプ	空 気 圧 縮 機	給 油 空 気 機	給 油 フ ァ ン	排 気 フ ァ ン
形 式	横軸軸流ポンプ	ディーゼル機関	逆車歯車減速機	電動螺旋弁	フラップ弁	面Fゴム可撓管	水針式真空ポンプ	鋼板製角形貯水機	地下貯2重壁タンク	鋼板製丸形燃料タンク	倍率ポンプ	2段空冷立形圧縮機	鋼板製高圧空気機	螺旋形有圧扇	螺旋形有圧扇
仕 様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,20m	200PS		φ1,350mm×L850mm	φ1,650mm×4枚弁丸形	φ1550mm×L700mm	φ80mm×8,0mm ³ / _{min} ×最高-530mmHg	有効貯水量300L	貯油量3,000L	有効容量450L	φ20mm×30L/min×2.5kg/cm ²	17.9m ³ /hr×30kg/cm ²	150L×32kg/cm ² ×2連		
電 動 機 出 力	—	初期消費電力0.75kW	初期消費電力0.75kW	1.5kW	—	—	15kW	—	—	—	0.4kW	3.7kW	—	0.75kW	1.5kW
数 量	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	4	2	2
備 考	(キ) (チ)	(キ) (チ)	(キ) (チ)	(キ) (チ)	(キ) (チ)	(キ) (チ)	2台中1台予備 補水機1台を含む	鋼製架台付	第3石道機(A重油)	第3石道機(A重油) 鋼製架台付	2台中1台予備 φ25mmワイピング付	2台中1台予備	2連中1連予備 ドレン分離機付	機軸1m56dB(A)以下	機軸1m64dB(A)以下

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

工 事 名	農村地域防災減災事業（湛水防除）福ノ江地区		
図 面 名	2号ポンプ設置後撤去機器フローシート（1号ポンプ対象）		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	—	図面番号	8 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業（役）所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
機器撤去平面図 S=1:50



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	機器撤去平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	9 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(税)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

注) 1. 図のハッチングは、今回撤去対象機器を示す。

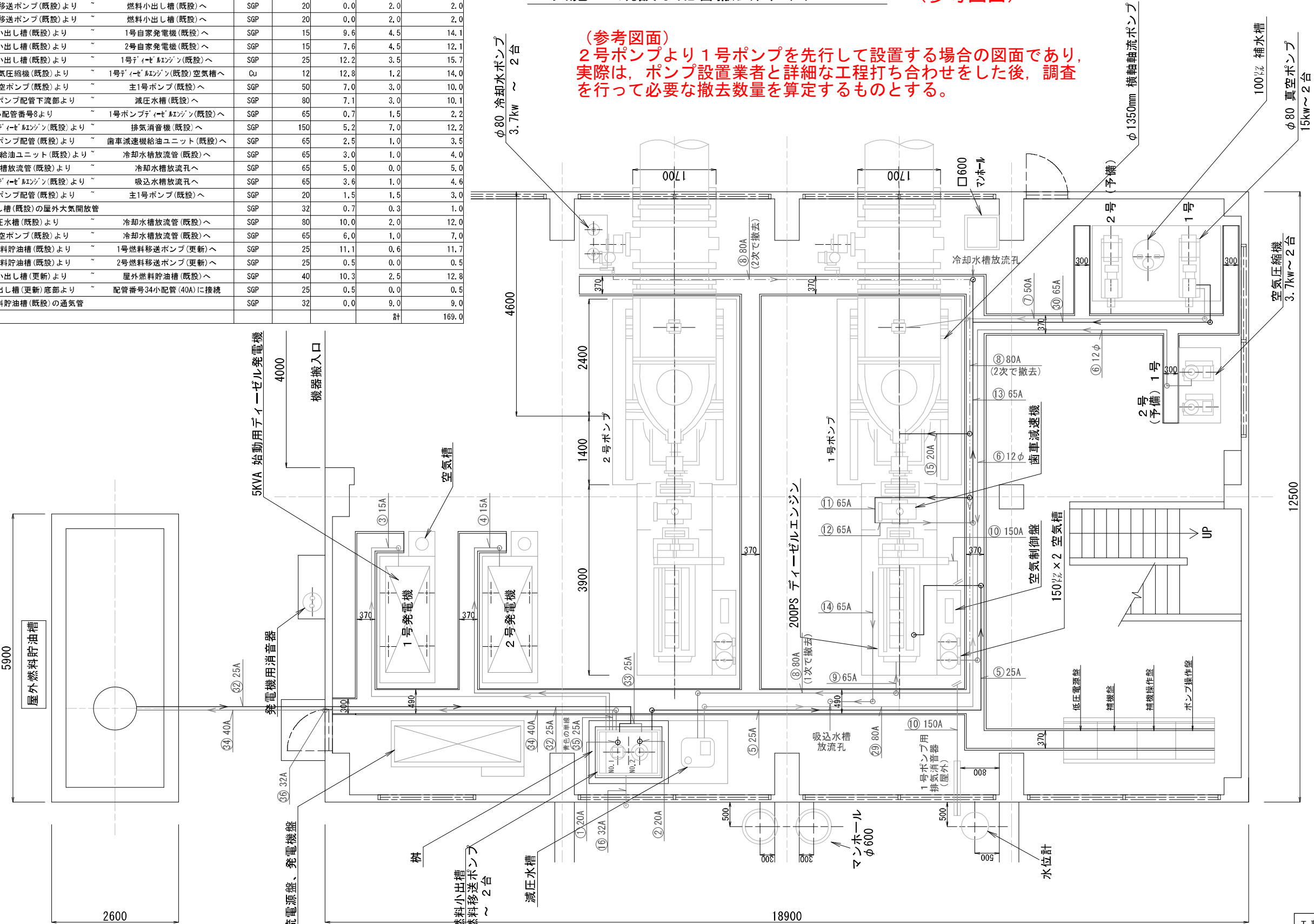
福ノ江排水機場 小配管撤去延長一覧表 (1次施工)

番号	設置区間	管種	管径 (mm)	平面管長 (m)	垂直管長 (m)	仮配管延長 (m)
1	1号燃料移送ポンプ(既設)より ~ 燃料小出し槽(既設)へ	SGP	20	0.0	2.0	2.0
2	2号燃料移送ポンプ(既設)より ~ 燃料小出し槽(既設)へ	SGP	20	0.0	2.0	2.0
3	燃料小出し槽(既設)より ~ 1号自家発電機(既設)へ	SGP	15	9.6	4.5	14.1
4	燃料小出し槽(既設)より ~ 2号自家発電機(既設)へ	SGP	15	7.6	4.5	12.1
5	燃料小出し槽(既設)より ~ 1号ディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	25	12.2	3.5	15.7
6	1号空気圧縮機(既設)より ~ 1号ディーゼルエンジン(既設)空気槽へ	Cu	12	12.8	1.2	14.0
7	1号真空ポンプ(既設)より ~ 主1号ポンプ(既設)へ	SGP	50	7.0	3.0	10.0
8	冷却水ポンプ配管下流部より ~ 減圧水槽(既設)へ	SGP	80	7.1	3.0	10.1
9	小配管番号8より ~ 1号ポンプディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	65	0.7	1.5	2.2
10	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 排気消音機(既設)へ	SGP	150	5.2	7.0	12.2
11	冷却水ポンプ配管(既設)より ~ 歯車減速機給油ユニット(既設)へ	SGP	65	2.5	1.0	3.5
12	歯車減速機給油ユニット(既設)より ~ 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	65	3.0	1.0	4.0
13	冷却水槽放流管(既設)より ~ 冷却水槽放流孔へ	SGP	65	5.0	0.0	5.0
14	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 吸込水槽放流孔へ	SGP	65	3.6	1.0	4.6
15	冷却水ポンプ配管(既設)より ~ 主1号ポンプ(既設)へ	SGP	20	1.5	1.5	3.0
16	燃料小出し槽(既設)の屋外大気開放管	SGP	32	0.7	0.3	1.0
29	減圧水槽(既設)より ~ 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	80	10.0	2.0	12.0
30	1号真空ポンプ(既設)より ~ 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	65	6.0	1.0	7.0
32	屋外燃料貯油槽(既設)より ~ 1号燃料移送ポンプ(更新)へ	SGP	25	11.1	0.6	11.7
33	屋外燃料貯油槽(既設)より ~ 2号燃料移送ポンプ(更新)へ	SGP	25	0.5	0.0	0.5
34	燃料小出し槽(更新)より ~ 屋外燃料貯油槽(既設)へ	SGP	40	10.3	2.5	12.8
35	燃料小出し槽(更新)底部より ~ 配管番号34小配管(40A)に接続	SGP	25	0.5	0.0	0.5
36	屋外燃料貯油槽(既設)の通気管	SGP	32	0.0	9.0	9.0
計						169.0

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

1次施工 既設小配管撤去図 (1) S=1:40 (参考図面)

(参考図面)
2号ポンプより1号ポンプを先行して設置する場合の図面であり、
実際は、ポンプ設置業者と詳細な工程打ち合わせをした後、調査
を行って必要な撤去数量を算定するものとする。



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

小配管の管種はSGPである。ただし、空気圧縮機から空気槽への小配管12φは銅管（Cu）である。

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

工事名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図面名	1次施工 既設小配管撤去図 (1)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	S=1:40	図面番号	10 / 70
会社名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

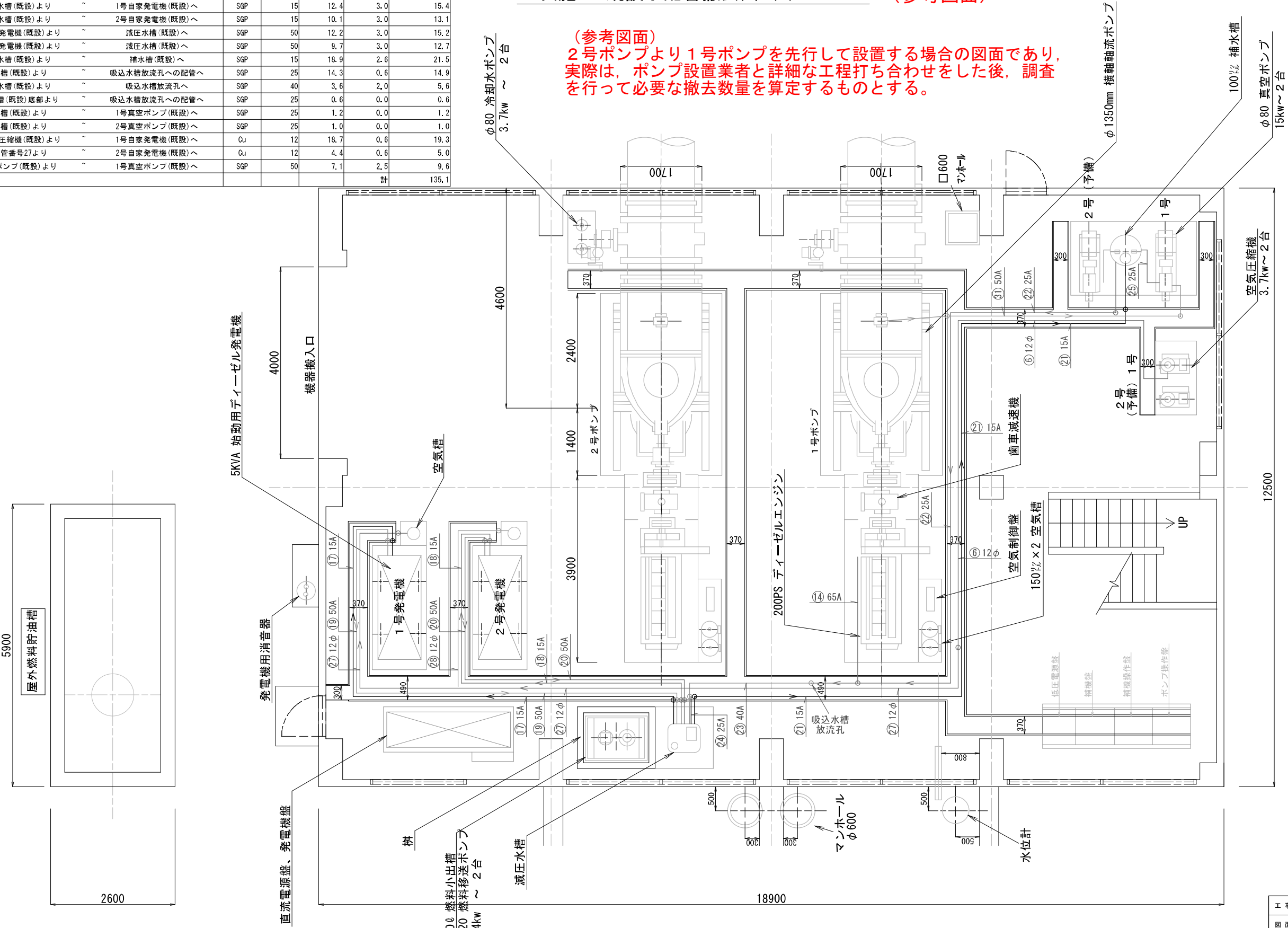
福ノ江排水機場 小配管撤去延長一覧表（1次施工）

番号	設 置 区 間	管種	管径 (mm)	①	②	③=①+②
				平面管長 (m)	垂直管長 (m)	仮配管延長 (m)
17	減圧水槽(既設)より ~ 1号自家発電機(既設)へ	SGP	15	12.4	3.0	15.4
18	減圧水槽(既設)より ~ 2号自家発電機(既設)へ	SGP	15	10.1	3.0	13.1
19	1号自家発電機(既設)より ~ 減圧水槽(既設)へ	SGP	50	12.2	3.0	15.2
20	2号自家発電機(既設)より ~ 減圧水槽(既設)へ	SGP	50	9.7	3.0	12.7
21	減圧水槽(既設)より ~ 補水槽(既設)へ	SGP	15	18.9	2.6	21.5
22	補水槽(既設)より ~ 吸込水槽放流孔への配管へ	SGP	25	14.3	0.6	14.9
23	減圧水槽(既設)より ~ 吸込水槽放流孔へ	SGP	40	3.6	2.0	5.6
24	減圧水槽(既設)底部より ~ 吸込水槽放流孔への配管へ	SGP	25	0.6	0.0	0.6
25	補水槽(既設)より ~ 1号真空ポンプ(既設)へ	SGP	25	1.2	0.0	1.2
26	補水槽(既設)より ~ 2号真空ポンプ(既設)へ	SGP	25	1.0	0.0	1.0
27	1号空気圧縮機(既設)より ~ 1号自家発電機(既設)へ	Cu	12	18.7	0.6	19.3
28	小配管番号27より ~ 2号自家発電機(既設)へ	Cu	12	4.4	0.6	5.0
31	主1号ポンプ(既設)より ~ 1号真空ポンプ(既設)へ	SGP	50	7.1	2.5	9.6
				計		135.1

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

1次施工 既設小配管撤去図 (2) S=1:40 (参考図面)

(参考図面)
2号ポンプより1号ポンプを先行して設置する場合の図面であり、
実際は、ポンプ設置業者と詳細な工程打ち合わせをした後、調査
を行って必要な撤去数量を算定するものとする。



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

小配管の管種はSGPである。ただし、空気圧縮機から空気槽への小配管12φは銅管（Cu）である。

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	1次施工 既設小配管撤去図 (2)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:40	図面番号	11 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

